

# 会議顛末書

										記録者	課長補佐 青木誉	
供覧	市長	副市長	部長	副部長	課長	補佐	係長					
	課員											
件名	牛久沼の利活用に関する意見交換会											
年月日	平成 29 年 10 月 1 日（日）											
時間	（午前の部）午前 10 時 00 分から午前 11 時 45 分まで （午後の部）午後 1 時 00 分から午後 3 時 15 分まで											
場所	（午前の部） 馴柴コミュニティセンター多目的室 （午後の部） 龍ヶ崎市役所付属棟 1 階第 1 会議室											
事務局	中山市長、川村副市長、龍崎総合政策部長、由利道の駅・牛久沼プロジェクト課長 【牛久沼活用構想策定支援業務受託者】 （株）北山創造研究所 村田洋一氏											
次第	1 開 会 2 主催者挨拶 3 牛久沼活用構想について 説明：（株）北山創造研究所 村田洋一 氏 4 意見交換 5 閉 会											
内容	下記のとおり報告します。  ■参加人数：合計 134 名 （午前の部） 馴柴コミュニティセンター 85 名 （午後の部） 市役所付属棟 49 名 ■発言要旨：別紙参照											
要措置事項												
情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由					（龍ヶ崎市情報公開条例第 9 条 号該当）					
	部分公開 非公開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）					年 月 日					

龍ヶ崎市総合政策部道の駅・牛久沼プロジェクト課

【午前の部／馴染コミュニティセンター】 ※発言内容は、一部要約して掲載しています。

発言者	発言要旨
事務局	【開会】
市長	【主催者挨拶】
事務局	【牛久沼活用構想の経緯説明】
北創	※北創＝(株)北山創造研究所 【牛久沼活用構想について】
市民 A	<p>牛久沼を龍ヶ崎市の活性化の一つとして考えるのは大変いいと感じますが、牛久沼は龍ヶ崎市であるということも認知されていません。</p> <p>牛久沼の魅力の一つは、その景観の美しさや自然、水辺で水鳥。また、水産資源といったものがあると思います。</p> <p>牛久沼の魅力、すなわち、龍ヶ崎のブランド力を高めるためには、ナンバーワン戦略、これが有効だと思います。</p> <p>そして、龍ヶ崎のブランド力向上のためにも牛久沼を龍ヶ崎市牛久沼と呼ぶことを推奨いたします。</p>
市長	<p>名前の問題というのは、龍ヶ崎市だけの視点ではなくて、広域的視点でこの牛久沼を考えていかなければならないと思っております。</p> <p>龍ヶ崎、自治体で行っている道の駅の整備でございますので、道の駅の名前には龍ヶ崎というのをしっかりと刻んでいかなければいけないと思います。</p> <p>愛称にするのか、地名でいくのか、いろいろご意見があると思いますので、道の駅の命名については、今後ご意見をいただきながら進めて参りたいと思っております。</p> <p>ブランド戦略につきましては、牛久沼にも魅力的なものがたくさんありますので、それをナンバーワン戦略としてつないでいけたら本当にすばらしいことなのかなと考えております。</p>
市民 B	道の駅に関連して、周辺道路の整備という計画とかはどのように考えておりますか。
市長	<p>自転車が好きの方は独自の周遊コースをもって牛久沼を回っている方がいらっしゃる。例えば、二千間堤が舗装されていない景色のいい土手なので、そういうところは、実は龍ヶ崎市、取手市、つくばみらい市にまたがっているところですよ</p> <p>そういうところは連携をして、牛久沼周辺は既存の道路を利用しながら、市民の皆さん、そして、遊びに来てくださる皆さんが、楽しんでいただけるルート設定ができればいいなと考えております。</p>
市民 C	牛久沼を自然の美しいものにしていただきたいということと、市民ワークショップとか、何か明るい、開かれたことができればいいなと考えますがいかがでしょうか。
市長	<p>特に、お子さんが自慢できるふるさとになってくれたらうれしいと思っておりますし、そういう所にしていかなければと考えております。</p> <p>文化的なものというのは、本当に大事なところだと思います。</p> <p>一つの例ですが、バレリーナが牛久沼の前で白鳥の湖を踊っている動画など YouTube にアップしたら閲覧してもらえますよ、というような積極的な言葉を市民の方からいただいております。</p>
北創	<p>牛久沼中心に円を書くと、その周辺には筑波大や芸大があって、そういう文化的な活動というのも将来的にやれたらいいなと思っております。</p> <p>若い力を活かしてまちをつくっていくということは、すごく大事だと思いますし、ワークショップなどを道の駅でやってもいいと思います。</p>
市民 D	<p>長期的な文化を育成するということで、例えば、茨城は土地があるので、エクストリームスポーツがすごい盛んだったり、マーケットとしてはまだまだ広いと思いますが、マーケティングというか、ユーザーの顔がいまいち見えないところが多いです。</p> <p>国道 6 号の龍ヶ崎ニュータウンに上がるところで、トラックの路駐がすごく、そういったトラックのユーザーさんに対して、道の駅としてどういう機能を提供するのか。</p> <p>道の駅というものをどういう道の駅にしていくのかということと、何年後どういっ</p>

	<p>たまちづくりにつながっていくのか、また、ウインドサーフィンが盛んであれば、プロショップを誘致することによって、地域のスポーツ文化だったりが発展していくと思いますが、使う側の顔が正直見えないなというところがありますので、お伺いできればと思います。</p>
市長	<p>トラックに関して、道の駅は交通者の休憩場所としての役割がありますので、大事にしていかなければならないと思いますが、一般車両、自家用車の停まる場所というのは、分けるような形になってくると思います。</p> <p>ユーザーの顔が見えないという話でしたが、確かに、今の段階では具体的なユーザーということまでは辿りつけてないのかなと思います。</p> <p>しかし、受け皿として水に親しみやすい環境づくり、そういうものをしっかりとつくっていく中で、民間事業者、そういう人たちがユーザーとの顔をつないでくれるという形にしていきたいと思っています。</p>
市民 E	<p>自転車でもいい、ウォーキングでもいい、道路の舗装を周辺市にも協力してもらえれば、牛久沼全体を見渡す周遊道路など実現可能な気がしますし、すべての人が牛久沼の自然に接して、牛久沼の素晴らしいところを見つけられるんじゃないかなと思います。</p>
市長	<p>舗装の話は、これから周辺の首長さんに語りかけていきたいと思っています。</p> <p>牛久市さんは、自ら木道を作ってくれたりしているので、積極的に協力していただけるのではと思っています。</p>
市民 F	<p>市の花は桔梗ですが、岐阜県の土岐というところとも密接に関連していて、龍ヶ崎は、何か姉妹都市を持つのでしょうか。</p> <p>大洗はスウェーデンのまちと姉妹都市を結んでいるんですが、今後、そういうことも考えているのでしょうか。</p> <p>泊崎大師堂の辺りが、ちょうどジオパークの一番末端ですが、環境コンシェルジュのような、人材育成を是非していただきたいと思っています。</p>
市長	<p>龍ヶ崎市は大変残念なことに国内、海外含めて姉妹都市はございません。</p> <p>しかしながら、オリンピックのキャンプ地誘致など、国際的な交流ができる機会がこれからもあるので、国内も含めて姉妹都市、観光交流都市などの交流もできるようにしていきたいと思っています。</p> <p>環境の人材育成に関しては、これからの検討課題となりますが、熱心な市民の方もいらっしゃいますので、ご意見をいただきながら、この牛久沼を契機として、これから研究していきたいと思っています。</p>
市民 G	<p>周遊道路があれば木々の間から牛久沼が見えるし、たつのこ山のようなものをつくれば、富士山や筑波山も見えるようになります。</p> <p>牛久沼八景もすごくいいので、活用してみたらどうでしょうか。</p>
市長	<p>茨城百景にも牛久沼が入ると思いますが、そういう名所づくりなどもいいと思います。</p>
市民 H	<p>来年に世界湖沼会議が開催されますが、霞ヶ浦に留まらず、牛久沼にも関係があると思いますので、是非、参考にさせていただきたい。</p>
市長	<p>世界湖沼会議に関しましては、関係団体であります茨城県河川協会の会長を、今年から務めさせていただいておりますので、こういう機会をとらえて、牛久沼に繋げていきたいと思っています。</p> <p>また、水際線シンポジウムを茨城県や河川協会主催で行っており、世界湖沼会議の前年の大切な会議という位置づけをしております。</p> <p>今年は当市で10月31日に文化会館にて開催されますので、是非、お越しいただければと思います。</p>
市民 I	<p>牛久市のアヤマ園のように、龍ヶ崎市にも緑あふれる道の駅や植物園があれば、名所になるのではないかと思います。</p> <p>桔梗はとても丈夫で強い植物ですし、とてもきれいな花ですので、いろんなところに植えて、取り入れていただければと思います。</p> <p>また、バラが植わっていれば、茨城県の龍ヶ崎市という印象が強まるのじゃないかと思っています。</p> <p>道の駅のトイレについては、高齢者やお年寄りに配慮したものが、多くつくられればいいなと思っています。</p> <p>交通量も激しいですし、近くに交番が有ったらいなと思います。</p>

市長	<p>桔梗は非常に美しいですし、見ていると心が落ち着くような花だと私も思います。バラも含めて、植物園のようなところはいいと思います。</p> <p>トイレは、我々も力を入れていこうというのは考えております。トイレは国土交通省さんが整備してくれるエリアでもあり、来てくださった方がストレスなく使っていただくトイレ、また、きれいなトイレにしていきたいと思います。</p> <p>交番については縮小傾向にあり、誘致は難しいと思いますが、研究させていただきたいと思います。</p>
市民J	<p>牛久沼で遊ぶ場合、水深が深かったり、危なかったりとかいうのがあるので、もし、浅瀬でエントリーできる場所やシャワーが道の駅にあったら、マリンスポーツができる人が寄って、食事して帰るといったように、結構人が来るんじゃないかなと考えておりますが、市長さんはどうお考えですか。</p>
市長	<p>同じような考えを持っておりまして、シャワーなどもあったらいいだろうという話もしております。</p> <p>また、プロショップのような民間事業者さんにもでてきていただけるような、ハード整備、そういう環境づくりをしていきたいと思っております。</p>
北創	<p>道の駅について、ウォータースポーツをやられる方のために、シャワー施設があったりとか、水辺に出やすいような桟橋が近くにあったりとか、そういった整備も同時にできたらという話を市長さんにもしております。</p> <p>また、牛久沼は比較的、海よりも安全だと思いますし、ビギナーの方でも水遊びに集まってくるようなエリアになればいいなと思っております。</p>
市民K	<p>牛久沼は河川区域であるならば、埋め立てとか、いろいろな制約があるかと思しますので、たつのこ山のようなものを作るには検討が必要かと思っております。</p> <p>また、道の駅と水辺公園の駐車場との連絡をどうするのか、というようなことも良く検討すべきだと思います。</p>
市長	<p>牛久沼は河川区域でございますので、桟橋ぐらいはできるかなと思っておりますが、あまり大きな構造物は水の中には造れないというふうに考えております。</p> <p>たつのこ山のようなものも、岸に隣接する空いたところに作るという発想になると思います。</p> <p>駅周辺、特に佐貫駅西側から牛久へのアプローチというのは北山創造研究所さんも大変関心を持っておりますので、なにかできないか、これから検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>また、東口からのアクセスということで、東と西をまたぐような跨線橋があればいいと思っておりますが、長期計画の話になりますので、茨城県さんとも協議できたらと思っております。</p> <p>また、佐貫三号線という都市計画道路を、佐貫駅周辺の整備構想の中の一つとして整備を進めているところです。</p>
市民L	<p>先日、牛久沼サミットが開催されたということですが、どんな内容が話し合われて、どんなことが採択されたのかとか、情報発信について、牛久沼に限らずどのような姿勢で臨まれるのか、是非お話を伺わせていただきたいと思っております。</p> <p>また、牛久沼の道の駅の施設の内容について、青写真とか概要とか、どこまで決まっているのか、具体的にお話を伺わせていただきたいと思っております。</p>
市長	<p>牛久沼周辺首長会議につきましては、各首長さんに声をかけさせていただき、第1回目は顔合わせだと思っており、まずはスタートラインに立ったというふうに考えていただければと思います。</p> <p>その中で、首長さん方からいろいろご意見もいただきましたし、牛久沼の視察をしましょうという話も出ましたので、そういうことも含めて、2回目、3回目の会議には取り組んでいきたいというふうに考えております。</p> <p>道の駅につきましては、基本設計がこれからですので、青写真のようなものはできておりません。牛久沼の活用構想を北山創造研究所にお願いをしているところですので、整合性のある形での道の駅の整備を進めていこうという段階ですので、ご理解いただければと思います。</p>
北創	<p>建築について一番望まないのは、コンクリートとかでがっちり固めるような建築はなるべくやめて欲しいというふうに思います。例えば、土曜日とか日曜日とか、そういう人が集まれるようなときに、外にマーケットとして開き、あまり人が来ない日常使用の時は縮んだりするような、仮設可変で伸縮自在な道の駅を目指せないかという</p>

	ことを考えております。
市民 M	<p>去年は龍ヶ崎から青森まで道の駅を歩いてきまして、そこで感じたことは、まず、道の駅の営業時間に制約があると感じました。</p> <p>また、電気自動車などの充電設備が一つしかない、というのを感じました。</p> <p>市ばかりで負担せず、自動車メーカーなどに協力してもらって、5、6台充電できる設備ができるのではないかと思います。</p> <p>それと、道の駅の農産物について、龍ヶ崎が起点でデコポンもできるし、リンゴもできる。ですから、そういう人たちを集めて話をしたらいいんじゃないかと思いません。</p>
北創	駐車場の電気設備などについては、使用する方々のニーズに合わせて、これから検討しようと話し合っているところです。
市長	名物づくりについては、いろんな意見がありますし、すでに名物になるようなものを作ってる農業者さんもいらっしゃいますので、是非活かしていきたいと思っております。
市民 N	北山創造研究所にお聞きしたいのですが、今まで、草津温泉などさまざまなまちづくりのプロジェクトにかかわっていらっしゃって、うまくいったところのポイントは、一体どういうところにあるのかを教えてくださいなと思います。
北創	<p>私も幾つかの担当をしていて、例えば草津温泉は7年間も担当しておりますけど、これが本当の成功かということ、まだちょっと疑わしいと思っています。</p> <p>ただ、やっぱり地元の人たちが中心地に戻ってきて欲しいという思いがあって、私たちが目指すのは、自分たちが開発したところに人が住んで、さらにいろんな人たちが外に出て賑わうようなまちづくりです。</p> <p>今回、地元の人たちに、あって良かったというふうに思われるようなまちづくりが一番の成功だと思っていますし、そのためには、施設だったり、今回手掛けるような計画自体は、ある程度収益というのを確保しなければいけないという考えをもってやっていますので、ほどほど収益があって、地元の人たちが毎日通えるようなまちづくりが、一番の成功と思っております。</p> <p>第一に地元です。</p>
事務局	<p>それでは終了の時間も若干過ぎておりますので、恐れ入りますが、意見交換会はこれで終了させていただきたいと思っております。すべての方にご発言をお受けきませんでしたことに、お詫び申し上げます。</p> <p>本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。</p>

発言者	発言要旨
事務局	【開会】
市長	【主催者挨拶】
事務局	【牛久沼活用構想の経緯説明】
北創	【牛久沼活用構想について】
市民 A	<p>牛久沼の開発について、牛久市、つくば市、つくばみらい市、守谷市、取手市、河内町も龍ヶ崎市と同じような考え方で進めているのでしょうか。</p> <p>群馬の方でリピーターが非常に多い道の駅があると聞きましたが、龍ヶ崎の農産物は売れるようなモノになるのだろうか。また、龍ヶ崎市の商人たちが、率先して店を出そうと考えているのかどうか。</p> <p>安らぎとにぎわいに関連して、例えば、新潟県の長岡市の市庁舎と一緒に建物を、隈研吾さんが設計されていますが、市民が自由に使い、マーケットも自由になり、色んなイベントもできるというようにいいものを是非、ここにも持ってきて欲しいと思います。</p> <p>牛久沼に観光バスで来てくれるようにするには、リゾートホテルのようなものを誘致できればいいんじゃないかと考えております。</p>
市長	<p>周辺自治体との連携については、当然のことながらそれぞれの自治体に温度差がございます。</p> <p>その中で、例えば牛久市さんは、自分の自治体名が付いた沼ですから、大変大切にいただいているので、もうすでに木道などがあつたりして、手を付けてくださっているところでもあります。</p> <p>また、水源という一番の流域であるつくば市さんなどは、新しい市長さんに変わられてから、水辺のスポーツなどに活用できるのではないかとということで、牛久沼に興味を持っていただいておりますので、そういった機をとらえて、周辺5市1町が一堂に会して、首長会議を開かせていただきました。</p> <p>牛久沼サミットという表現をされた方もいましたが、認識を共有しようということで、顔合わせのような会議でもありました。まずはキックオフをして、これから考えていこうということでもございます。</p> <p>それぞれの自治体が特性を活かして、牛久沼を活用していこうということで、今後この会議を通してお互いの議論を深めていきたいと考えておりますので、これからの経緯を見守っていただければと思います。</p> <p>農産物特産品については、龍ヶ崎はお米に関しては強いのですが、畑作はお米ほどではないということもございまして、その点は、これから道の駅が出来ると、龍ヶ崎の魅力を発信するような商品開発をして、ヒット商品を作っていく。それが続かないと、一つだけでは飽きられることになると思いますし、繋いでいくことが大事ではないかなというふうに考えております。</p> <p>あとは、周辺地域の魅力も発信していける場所になればいいと思いますし、みんなで一緒に Win・Win でやるような施設になればいいと思います。</p>
北創	<p>長岡の市庁舎は今まで市庁舎は市庁舎だけ、ホールはホールだけで別々に作っていたものを、1カ所にまとめて、常にいろんな用途の人たちが出入りするというような場所であるというのが凄くいいと思っています。道の駅もそういうふうでありたいなと思っていて、地元の子供たちが勉強しに来るような、図書館的な役割だったりとか、カフェ的な役割だったりとか、そういうような、今までバラバラだったものを一つにまとめるというような点では、今回目指すような道の駅と一緒にだと思っております。</p> <p>それと、リゾートについては、これから牛久沼の自然をもっと魅力的なものにして、将来的には泊まれるようなホテルの誘致に繋げるとか、長い期間を見ながらやっていければと思っています。近くに余っているスペースもあるようですので、そういったところで、例えば、グランピングと言われるような、2万、3万出してキャンプするような場所だったりとかも考えられると思いますし、ファミリー用のキャンプ場みたいなものを作ることも考えられます。</p>
市民 B	<p>周辺の市町だとか、長期的な事業ということで、大規模なプロジェクトですけれ</p>

	<p>ど、これから人口減少時代を迎えて、地域の活性化をPRしていかないといけない時代なので、いい事業だと思います。</p> <p>牛久沼に観光に行こうとすれば、名物はこれだというようなものが必要だと思います。牛久沼を住民の憩いの場、周りから来た人には、一日遊べるということで、若柴宿、牛久シャトーだとか大仏だとか、そういう所も回って1日観光できるようにセットでPRをしていただけたらと思います。</p> <p>経験からすると、1日20キロ、1周するにはちょっと長過ぎるので、沼のちょうど中央に橋を渡して、10キロで1周とすれば、ジョギングしたり、ウォーキングしたりするのに適した距離に近づくとと思いますが、いかがでしょうか。</p>
北創	<p>20キロ1周とすると、子供は歩けないかもしれないので、3キロから始めて、5キロ、10キロ、20キロといった多様なコース設定で計画していければと思います。</p> <p>名物が少ないのは確かにそうで、作っていかなくてはいけないと思っております。今ある素材を活かしながら、どうやって作っていくのかを今後ご紹介させていただければと考えております。</p>
市長	<p>周遊するという意味では、龍ヶ崎市に限らず、この辺の一つひとつを見ると魅力的なものが点在しておりますので、周辺自治体と一緒に魅力的なコースを作っていければいいと思います。</p> <p>阿見町で道の駅を整備していますが、近くに道の駅があると、両方寄ってくれる方もいらっしゃいますので、その間に何かコースを作ると面白いと思います。</p> <p>また、観光バスに寄ってもらえる観光ルートの設定もできればいいとも思います。</p> <p>橋については、将来的な話になりますが、例えば三日月橋まで歩いて行ったら帰りは渡し船とか、そういう夢の話もあるかと思っております。</p>
市民C	<p>まず直近の事業として、牛久沼は景観が最高にいいので、一番最初に手を付けるのは道の駅からとは思っていますが、何段階かに分けて計画していくのかということをお教えいただきたい。</p> <p>また、当然そこが発展すると思いますが、龍ヶ崎のまち中に人を誘導する案があるかを教えてください。</p>
北創	<p>景観づくりの件に関しては、開発の順序というか、名所づくりの順序としては、第一に道の駅が決まっています、あと2か所くらい考えております。</p> <p>一つは近くにある島の活用と、水辺公園を今まで以上に活用するには、どうゆうものがあるかということです。</p> <p>もう一つは道の駅に隣接したエリアをどう活用していくかということです。</p> <p>せつかく駐車場も作られるので、人が来やすいような、楽しい場所を作るため、2、3カ所を中心に、人が集まるスポットとして集中的に整備した方がエリアとしてはいいかと思っております。</p> <p>龍ヶ崎市のまち中については、今回の話とは別のプロジェクトという話になると思いますが、佐貫駅から道の駅まで歩くと結構な距離がありますので、例えば巡回バスなど、そういうものを含めて回遊できるようなバスなどがあつたら便利だと思います。</p>
市長	<p>道の駅ができれば、佐貫駅と道の駅間のシャトルバスを走らせられないかという構想もございます。まずは龍ヶ崎に来ていただいて、そこから龍ヶ崎のまち中に行ってもらっていただける、興味を持っていただけるような情報発信をしていくのも大事だと思っております。</p>
市民D	<p>北山さんの資料で、働くこととか、あるいはまちづくりとか、暮らしだとか、それから商売とか、こういうファクター（要素）もいろいろ入ったように思いますが、牛久沼公園だけだと、そういうことにはならないのではないかと思います、どう考えますでしょうか。</p> <p>将来的な話で、100年先まで考えるのはいささか遠すぎると思いますが、もうちょっと具体的な、実現可能な、なおかつ持続可能なプロジェクトにしないといけないと思いますが、どう考えますでしょうか。</p> <p>龍ヶ崎単独ということではなかなか難しいと思っておりますので、いろんなミーティングの中での合意形成の過程で、是非、予算あるいは財政負担、これらを含めたより具体的な話もしていただきたいです。</p>

<p>市長</p>	<p>例えば、周遊のルートを設定し、それぞれの自治体に属した道路で既存のルートを作って、例えばウォーキング、サイクリングのコースを作っていくというのはできると思いますが、例えば、二千間堤のように取手、つくばみらいに跨っている道路を舗装していくとなると、龍ヶ崎市だけがお金を出す訳にはいかないの、一緒になってコースを作っていくとする構想の下で、それぞれに整備をお願いしていくことになると思います。</p> <p>これに関しては、地方創生などの助成金を活用できないか、研究しながら進めていきたいと思っています。</p> <p>加えて、例えば水質浄化で何か予算を使わなければならないというようなときには、周辺自治体も一緒に予算的な措置をしながらやるのが理想的だと考えておりますが、当然、合意形成も必要ですので、すべて龍ヶ崎市で持ち出すということではなくて、力を出し合いながら、牛久沼を魅力的な所にしていくというように考えております。</p>
<p>北創</p>	<p>草津温泉のまちづくりをしています。風情の無い建物をやめて、駐車場が中心地にあったので、それを湯屋としてつくっていくという話で出来ました。</p> <p>この湯屋は基本的に町がやっていて、町が雇用しているのは、せいぜい6、7人で直接雇用をしていないので、直接影響はないかと思われたのですが、そうではなく、こういった名所というのを町の中心に作ることで、周辺の旅館だったり、土産物屋だったり、商店の売上が30%以上上昇しています。来る方々も20%くらい増えています。</p> <p>これから考えると、直接雇用するというよりは、行政は牛久沼を名所となるように育てて、それをネタに市民の人たちが、その周辺で商売をやるような環境をつくるのが近い考え方と思っています。</p> <p>道の駅の売上としても、年間7億9,000万円ぐらいということで考えていっちゃうということなので、ある程度の売り上げはあると思いますが、大きな考え方としては、それをネタに周辺が自由にアイデアを出し合いながら商売ができるように資産をつくっていくというような話です。</p> <p>次に期間の話ですが、最初は道の駅を3年ぐらいのスパンで作っていく、その周辺にキャンプ場だったり、にぎわいのために事業者さんを集めてやっていくことを提案し、10年間位掛けて、島を含めて、水辺公園とか道の駅の隣の空いてる敷地だったりを含めて考えていきたいと思っています。</p> <p>行政に負担を掛けるというのは良くないと思うので、ある程度、道の駅を作ったら民間に徐々に頑張ってもらえるような仕組みづくりは必要だと思っています。</p>
<p>市民E</p>	<p>私も以前から霞ヶ浦の水質浄化などを研究した経緯がありまして、ウォーターフロントとしてまちづくりが成功するのは、まず水がきれいだということが一番だと感じます。</p> <p>牛久沼の水質はおそらく、CODが7とか8とか高いのではないかと思います。この水をきれいにするには、基本的に水が流れてないと成功しないと思います。</p> <p>そこで、50メートルあるいは100メートル地下の帯水層の水をくみ上げて、その水を湖水に流し、水をきれいにして景観設計をデザインすれば成功すると思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>北山創造研究所さんとお話をする中でも、水辺を魅力的なものにしていくというときには、水質が一番大事だという話はされております。</p> <p>ただ、少しずつ改善はしていますが、長年の懸案となっております。</p> <p>おっしゃるとおり、CODは7とか8とかで、現在、茨城県が第4期牛久沼水質保全計画を策定中ですが、それでもなかなか改善しないというのが現状です。</p> <p>茨城県は、森林湖沼環境税というのがございますが、霞ヶ浦の方で予算が多くて、牛久沼も生活排水の合併浄化槽の補助金などでは活用できておりますが、それ以外のところでは、なかなか活用できていないという状況です。</p> <p>ただ、来年、世界湖沼会議もありますし、10月31日に水際線シンポジウムが龍ヶ崎で開催されますので、それも活かしながら、いかに牛久沼の水質を改善の方向に向けていくか、いろいろお知恵をいただければと思います。</p>
<p>市民F</p>	<p>脚光を浴びるためには二番手だったら意味がないと思いますので、このような自然を取り込んだ構想を描いている自治体が、近郊にあるのかどうかお聞きしたいです。</p> <p>プレゼンテーション内容について、地域の人々が自然に集うことがファーストプラ</p>



	<p>イオリティ（最優先事項）ということだと思いますが、その地域の定義はどこなのか、龍ヶ崎を中心とした牛久沼周辺の5市1町を描かれているのかお聞きしたいです。</p> <p>近い将来、AIとロボットに仕事が奪われ、無職の人が多くなるというような状況で、憩いの場をどこに求めるかという観点から、今回の牛久沼の構想はものすごいインパクトが強くなってくるとと思いますが、この部分についてはどういうふうにお考えなのか、お聞きしたいです。</p>
北創	<p>まず、地域の定義ですが、牛久沼を中心に5キロの円を描くと、地元の子供でも自転車で来ようと思えば来れる範囲であり、さらに、15キロの円を描くと、自動車でも30分くらいで到着する範囲になり、つくばだったりとか、取手だったりとか牛久だったりとか、幾つかの都市が入っています。そういうような2段階に分けて考えていますが、まず来て欲しいのは、5キロ圏内の方々です。</p> <p>次に、AIなどについても研究をしていて、コンビニとか人が要らなくなるような時代になってくるので、働く場所というのは今までの概念ではなくなってくると予想されます。そうすると、体を動かしたり、水辺を活かして、スポーツができるような事業というか、サービスをするような場所だったり、ウォーキングをサポートするようなサービスだったり、体が直接影響してくるような商売というのが今後注目されてくるんじゃないかと思っております、今回の牛久沼というのは、そういった未来に向けた開発でもあって欲しいと思います。</p> <p>例えばキャンプのように仲間と集ったり、本当に現実的なところにしか価値がなくなってきた、買い物に出なくてもいいような社会になるかもしれないので、そういうときに、少しでも外に出て仲間と遊んだり、体を動かしたりするために人が集まってくる場所になればなと思っております。</p>
市長	<p>国道6号線沿線には道の駅が全然ないので、そういう意味では広範囲から人を呼び込める場所になると思っております。</p> <p>さらに、農産品が集まってくるエリア、魅力的な農産物があるところも周辺地域に含まれてくると思いますが、近くて来られる人のエリアも一つの周辺エリアだと思います。</p>
北創	<p>自然を取り込んだ構想を描いている自治体について、私たちが調べた範囲では日本ではそれほどないです。</p> <p>今、参考にしてるのは、アメリカの事例が多いです。例えばサンフランシスコ湾一周100キロ位のウォーキングトレイルとか、ケンタッキー州のルイスビレッジの一周回っているような表情が楽しめるようなウォーキングトレイル、自転車だったりとか、そういう概念が当てはまるのではないかと思います、参考にしています。</p>
市民G	<p>夢のお話のようなすばらしい構想もいいと思いますが、マイナス要因をちょっと考えて見ました。</p> <p>道の駅そのものは明るいと思いますが、夜になると、裏の散歩道コース、あるいは周遊コースは真っ暗だと思います。夜は通行止めにするならともかく、治安とか、防犯とか、そういう問題についてはどういうふうにお考えかお聞きします。</p>
市長	<p>遊歩道を作ろうとすると、そこから外れたところは確かに安心安全という部分では心配なところもありますので、整備をしていくときには、夜間は止めるという考え方も必要かもしれません。</p> <p>また、その犯罪が起こらないように賑わいをつくり出す、というのは一つの目標ではありますが、牛久沼の全部が全部、賑わいを出すことは非常に難しいので、犯罪を抑止する防犯という観点も真剣に考えていく必要はあると思います。</p>
北創	<p>最近の自然の開発として、夜間は閉めるという傾向はあると思います。大体きれいに管理されているところは夜間は閉めております。</p> <p>そこで、例えばイベント、皆で月見しようとか、そういった時には開放し、安全を確保できるところは限定して開放するけど、基本的には閉めるというのが、長い目でみて安全を保つことができる一つの要因かと思っております</p>
市民H	<p>牛久沼をどうにかできないだろうかというの、地域の人たちとも話をしたりしておりますが、行政主導で進めてやろうとしても無理だと思います。</p> <p>私の提案ですが、市がランドデザインをつくって、地域の人たちもNPOをつくるか否かは別として、そういう体制が必要かと思っております。</p> <p>地域の人たちの力を借り、それを助けるために、できるなら市が予算をつけて後押</p>

	しするのもいいと思います。
市長	<p>周辺には5市があり、それぞれ近くに住む方と、沼の環境を大切にされている方が多いと思いますので、公園や道路の里親制度などによって、草刈りをしてもらったり、花を植えてもらったり、行政からお手伝いをしながらやっていただく、そういう取り組みを、各自治体の皆さんが首長さんに投げかけていくことも可能なのではないかなと思います。</p>
市民I	<p>サイクリストからの視点で申し上げさせていただきます。</p> <p>サイクリストというのは水辺を走るのが好きなので、しまなみ海道、霞ヶ浦、琵琶湖一周のように、水辺に道があると集まります。近場で霞ヶ浦、北浦、手賀沼、印旛沼がありますが、まともに一周できるコースがあるのは実は霞ヶ浦だけです。</p> <p>サイクリストは、ちょっと駅から降りて、自転車を組み立てて、そのまま水辺まで行って、一周して帰ってくるっていうようなことを日常茶飯事にしますので、一周20キロという手軽に回れる牛久沼に、サイクリストを呼び込むというのは、使わない手はないというか、是非、個人的には道の駅よりも優先的に考えていただきたいです。</p>
市長	<p>すでに自転車好きの人が牛久沼を一周しているという話も聞きますが、道路が整備されてない現実がありますので、既存のルートを活用しながら、交差点改良したり、舗装されてないところを舗装したりとかいう形で、コース設定ができたらと思っております。</p> <p>水辺の景色を楽しみながら走れるところが意外と少ないそうですので、丘の上だったり、陸側に入ったり、工夫次第ではいろいろできるのかなと考えております。</p>
北創	<p>海外に行くマウンテンバイク用のキャンプ場があったり、水辺があったり、うらやましいなと思っております、道の駅で今回望むものとして、シャワーなど付けられないかなと思っております。</p> <p>水辺でカヌーや、ウインドサーフィンをやられるような方にもちょうどいいですし、サイクリングをやってる方々にとってもいい場所なので、そこを基点に、補給所とか、そういった道の駅があったらいいなと考えております。</p> <p>あとは、犬を連れてこられるような場所で、水飲み場が道の駅にあたりとか、いろんな方々が目的を持って寄ってこられるような、場所を目指していきたいなと思っております。</p>
市民J	<p>ここにおられる方は皆、興味があつて来ておりますが、私がこういうことをやりますと提案された方はいません。</p> <p>良い構想だから市役所がやるもんだという事で、誰も協力しないのが一番の問題だと思います。</p> <p>リーダーシップをとるのは市役所ですが、そういうことに協力するメンバーをどうやって集めて力をつけていくのか、もちろん民間の会社も参加することになるのでしょうけど、市民が参加するというのが必要だと思いますので、そういうプロセスを、是非、盛り込んでいただければありがたいと思います。</p>
市長	<p>先ほどの近隣の皆さんの思いというのも一つ市民の力だと思いますし、今のお話も含めて、是非、そういうムーブメントを作るのにご指導いただければと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>また、民間というの観点からすると、道の駅が出来るのであれば、そこにふさわしい龍ヶ崎の人が誇りに出来るような商品づくりをしていこうという動きもありますし、農業者でも、積極的に取り組んでいるような生産者の方もいらっしゃいますので、そういう力も、もちろんこれから大切になってくると思いますし、市民の方からもどんどん、積極的に参画してくる力というのも大切だと思っております。</p>
市民K	<p>大和市の方に行って参りまして、そこにすばらしい4階建ての図書館で、スターバックスが入っていて、コンビニが入っていて、1階ではロボットが案内してくれて、リクライニングでCDを聞いたり、大きなテーブルがあつて、子供たちが勉強したりそういうできる場所であり、すばらしかったです。</p> <p>それと、年寄りになりますと、龍ヶ崎市内から牛久沼まで行くのには車に乗れなくなると思いますので、国道6号の激しい通りをどういうふうに行ったらいいのか、龍ヶ崎市内の皆さんが喜んでいただけるような場所にするためにも、その交通ルートはどのようにされるのかお聞きしたいです。</p>

市長	<p>国道6号のあの辺りは渋滞することもあります、今、国土交通省との一体型で道の駅を整備しており、右折左折レーンもしっかりと整備していただけるようでございますので、入りやすさという面では大丈夫だと考えております。</p> <p>そこまでのアクセスにつきましては、先ほどの佐貫3号線やシャトルバスもそうですし、例えばコミュニティバスのルートにするなど、公共交通網について検討しているところでございます。</p> <p>大和市の例がありました、子供たちが遊びだけじゃなく、例えば、カフェで勉強したり、滞留して時間を有効に使っていただけるよう、そういう仕掛けもしていきたいと思っております。</p>
北創	<p>大和市は結構お金をかけていて、そういう場所を作ったのだと思っておりますが、今回の道の駅はもう少し原始的な感じになるのかなと考えております。広場があって、自由にバイオリンを演奏したり、例えば合唱をしたり、もう少しお金をかけずに、日常を楽しめるような場所として作っていただければと思います。</p>
市民L	<p>確か牛久沼は首都圏の近郊緑地保全区域の指定になっていると思っておりますが、自然の景観を守るということを大事にして欲しいという観点から申し上げます。</p> <p>常磐線の東側には何百年も経っている山林があり、そこから黒富士を眺めるのは最高ですので、たつのこ山のようなものを作るという話がありましたが、道の駅はできるだけ低くしていただいて、景観を壊さないようにしていただきたいです。</p>
市長	<p>景観は大切です、今、道の駅を整備しようとしているところは、もともと埋め立てた場所でもありますので、森林を破壊するというのは無いと思っております。</p> <p>また、そういう開発はなるべく抑えるべきで、現在ある森林、丘陵や台地などを活かして、魅力的な場所にすることが理想であろうと思っております。</p> <p>今、廃墟があったりするの、時間がかかるかもしれませんが、解決をしながら、整理をしていきたいと思っております。</p>
北創	<p>道の駅に大規模な駐車場ができるわけですが、市長から、なるべく今植わっている木を切らないで欲しいというような話がありました。</p> <p>切るにしても、自然を感じられるような、自然であった場所を感じさせるようなコンセプトをつくってほしいという話もありました。</p> <p>まさしくその通りだと思いますし、なるべく木を動かさないで整備をしていこうと考えています。</p> <p>今回、自然の保護と開発という相反する二つの概念があって、普通に考えればぶつかってしまうのですが、そうではなく、なるべく自然を活かしながら賑わいをつくっていくということを考えています。</p> <p>例えば、建築に関しては、コンクリートでがっちり囲わないで、なるべく軽く、壊す時は解体費用もそんなにかからずにリサイクルに回せたりとか、自然の素材をなるべく多く使うとか、牛久沼の景観を壊したくないという意見に沿うような建築になると期待をしているところです。</p>
事務局	<p>それでは終了時間を過ぎておりますので、恐れ入りますが意見交換を終了させていただきます。すべての方にご発言いただけませんでしたこととお詫び申し上げます。</p> <p>なお、本日の内容につきましては今後の活用構想策定の参考とさせていただきたいと思っております。</p> <p>本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。</p>

龍ヶ崎市総合政策部道の駅・牛久沼プロジェクト課